

第5学年2組 外国語活動指導案

日 時 平成22年9月16日(木) 4校時
場 所 5年 外国語教室
児童数 男子15名 女子18名 計33名

1 単元名 いろいろな衣装を知ろう(英語ノート1 Lesson5)

2 単元とその指導について

(1) 教材観

自分や相手の着ている衣服や色を話題にしたコミュニケーションの経験は、これから他の人と関わる際に単なる挨拶だけでなく、親しく関わるための話のきっかけともなりうるものである。本単元では、世界の民族衣装や普段着を紹介しながら、様々な色やデザインに着目した普段着の言い方を知り、それらの買い物の場面を設定して、実際に自分の好きな衣服の買い物をする疑似体験をさせる。

世界各国のいろいろな民族衣装について知る活動は、それらの衣装と気候や文化の関係について考えるきっかけになると考える。また、いろいろな国の普段着を紹介することで、民族衣装は儀式などのときに着る特別なもので、普段着はどの国もあまり変わらないことが多く、異文化の中にも同質のものが存在することに気付くことができると考える。

衣服に興味をもち、英語を使って買い物を楽しむ体験を通して、児童は自分の思いを言葉や動作ではっきりと相手に伝えることの大切さに気付くことができる。また、自分の買った衣服にオリジナルのデザインを考え、自分の思いや好みを交流することで、相手のことを理解しようとする態度につながっていくと考える。

(2) 児童の実態

本学級の児童は4月より週1時間担任とALTとで外国語活動を行ってきた。「世界の『こんにちは』を知ろう」や「ジェスチャーをしよう」、「数で遊ぼう」、「自己紹介をしよう」の単元の学習で、多くの児童は、初めて学ぶ外国語活動を楽しみと肯定的にとらえ、興味を持って活動に取り組んできた。

これまでの外国語活動の中でゲームや交流活動は、ほとんどの児童が意欲的に活動し、楽しむ様子が見られた。しかし、中には英語表現による言葉の意味が分からないからと黙っていたり、恥ずかしがったりするなど、英語で話すことには消極的な児童も数名見られる。また、アンケートからほとんどの児童が、「英語が分かるようになりたい。」「英語は大切である。」と考えていることが分かった。しかし、「外国人が話しかけてきたらどうしますか。」という設問では、全体の約2割の児童が、「わからない。」と答えており、実際に外国人から声を掛けられた時に、どうしてよいかわからずに困惑してしまう児童の様子が想像できる。

(3) 指導観

指導にあたっては、自分や他人さらには外国の衣服に興味を持って取り組めるように、1時目でまず、自分の衣服がどこで作られたのか調べる活動を取り入れ、そのほとんどが中国やタイなど東南アジアで作られていることに気付かせたい。さらに色や形などのヒントをもとにどの国の民族衣装か当てるクイズに取り組ませ、世界にはいろいろな衣装があることにも気付かせたい。しかし、日本の和服と同様に、それら民族衣装は結婚式などの儀式的時に着る物であり、普段着は日本とそう変わりがないことに気付かせたい。2時目では、次時の買い物の疑似体験につなげるために、色や衣服の言い方に慣れさせるゲームやクイズを行うようにする。3時目では、前時の色や衣服の言い方を使って衣服の買い物をし、買ったものにデコレーションしていく活動を取り入れ、自分のオリジナルのコーディネートを楽しませるようにさせたい。4時目では、3時目でコーディネートした衣服が誰の衣服であるか当てるクイズを楽しませ、各々の衣服を紹介させ合うことで、友だちの好みや色に対する思いなどを交流させたい。そうすることによって、自分と同じ好みの児童がいることや逆に全く好み異なる児童がいることを理解することができるようにし、他者理解につなげたいと考える。

3 単元目標

- (1) 世界の衣装に興味を持ち、衣装についてのクイズや買い物の疑似体験に自ら参加しようとする。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (2) 衣装についてのクイズや買い物の疑似体験を通して、色や衣服の言い方、買い物の場面での表現に慣れる。
【外国語への慣れ親しみ】
- (3) 国によって様々な衣装があることに気付く。
【言語や文化に関する気付き】

4 単元計画(全4時間)

時	活動名	主な活動と英語表現	英語ノート・指導資料との関連・その他
1 (本時)	いろいろな国の衣装を知ろう。	今着ている服がどこから来たものか考える。 Which country was your T-shirt made? In China? In Thailand? 色や形から世界の衣装を当てるクイズをする。 The color is red. A long dress. Where is she from? 世界の子どもたちの普段着を見て、みんな同じようなものを着ていることを知る。	英語ノート1 P30, 31 外国の民族衣装の写真 外国の子どもの写真 外国のビジネスマンの写真
2	色や衣服のクイズをしよう。	JTE との衣服を話題とした会話から学習のめあてを持つ。 英語ノートの挿絵の人物を当てるクイズをする。 クイズ作りを通して、色や衣服の言い方に慣れる。 She is wearing a yellow shirt. She is wearing a blue skirt with white hearts. Where is she?	英語ノート1 P30, 31 Let's Listen CD31 ~ 33
3	買い物ゲームをしよう。	買い物ゲームをする。 Do you have yellow shoes? Yes, I do. Here you are. Thank you. / No, I don't. I don't have yellow shoes. 買った衣服にデザインをする。	英語ノート1 P33, 34 衣服の絵カード 衣服のワークシート Let's Listen CD35, 36
4	自分の衣服を紹介しよう。	誰の衣服か当てるクイズをする。 A red skirt with pink hearts. A yellow T-shirt. Whose clothes? 自分の衣服を紹介する。	英語ノート1 P35

5 評価計画

時	具体的な評価規準	評価方法	コ	慣	気
1	・世界の民族衣装を当てるクイズに答えようとしている。 ・自分の着ている衣服が外国で作られていることや、普段着は世界どこでも同じようなものを着ていることに気付いている。	振り返りカード 行動観察 英語ノート点検			
2	・色や衣服の部分の言い方を使ってクイズ作りに取り組んでいる。	振り返りカード 行動観察 英語ノート点検			
3	・今まで学習してきた、衣服や色の言い方を使って、買い物をしている。	振り返りカード 行動観察			

		ワークシート点検			
4	<ul style="list-style-type: none"> ・色や衣服の部分のヒントをもとに、クイズに答えようとしている。 ・友だちの衣服のデザインに対する思いや工夫に気付いている。 	ワークシート 振り返りカード			

6 展開

(1) 第1時

目標 世界には様々な民族衣装があることを知ると同時に、普段着はどこでも同じような服を着ていることに気付くことができる。

評価規準

- ・世界の民族衣装を当てるクイズに答えようとしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・自分の着ている衣服が外国で作られていることや、普段着は世界どこでも同じような服を着ていることに気付いている。【言語や文化に関する気付き】

準備等 英語ノート、電子黒板、世界地図、民族衣装の写真、シール

児童の主な活動	教師の働きかけと主な英語表現		備考
	HRT	JTE	
1．あいさつをする。	あいさつをしながら、何人かの児童と衣服を話題にした会話をする。 <div>Hello. / Your shirt is nice. / Do you like blue? / You look nice.</div>		世界地図(白)
2．今着ている服がどこで作られたかを調べ、学習の見通しを持つ。	服を話題にした話をして、学習の見通しを持たせる。 <div>H: Your T-shirt is very nice. I like it. J: This T-shirt was made in China. H: Oh, made in China? J: Which country was your T-shirt made? H: (タグを調べて) Oh, my T-shirt was made in Thailand. J: (児童に向かって) Which country was your T-shirt made in?</div>		
・自分たちの服がどの国で作られたか地図にまとめる。	自分のTシャツのタグを調べさせ、世界地図にシールを貼らせる。 自分たちが着ている衣服のほとんどが、中国やタイなどの東南アジアで作られていることに気付かせ、世界の人々がどんな服を着ているかを調べるきっかけにする。	正しい発音で生産国を知らせるようにする。 シールを地図に貼るようにながす。 <div>Put your sticker on this map.</div>	
3．世界の民族衣装を当てるクイズをする。	<div>めあて 世界の人々がどんな服を着ているか調べよう。</div>		民族衣装の写真
・世界の民族衣装から国名を考える。	民族衣装を着た人物の写真を黒板に貼り、どの国の民族衣装か考えさせる。	写真のどの人物が分かるように、衣装の特徴や人物の表情などのヒントを与える。	

<p>・その国がどこに位置するか考える。</p>	<p>民族衣装は、日本の着物、中国のチャイナドレス、韓国のチマチョゴリ、イギリスのキルト、インドのサリーを取り上げる。 JTE の指示を地図上でしてみせる。 民族衣装に興味を持たせるため、日本の着物が呉服ということから、呉の国（中国）から伝来したことやチマチョゴリがチマ（スカート）とチョゴリ（上着）に分かれることなどにふれる。</p>	<div>The color is red. A long dress. Where is she from?</div> <p>国を当てたらその国を地図上で指し示させる。</p> <div>Where is China? Please point out China.</div>	<p>世界地図</p>
<p>4．普段着を着た子どもの写真から、どの国の子どもか当てるクイズをする。</p>	<p>世界の民族衣装を当てるクイズに答えようとしている。 （行動観察） 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 色のカードを指し示したり、ジェスチャーを使ったりして JTE のヒントを補足する。</p> <p>普段着を着ている写真から、その国が分かるか児童に問いかけ、JTE にも聞いてみる。</p>	<p>写真だけではどの国の子どもか分からないことを伝え、ヒントを求める。</p> <div>H: Where is she from? She's from Japan? China? USA? H: sensei, do you know where she is from? J: （大げさに） I don't know. Hint please. H: OK. The first hint is a very big red building. The second hint is a very long road. The third hint is the national flag. （国旗を提示する）</div>	<p>外国の子ども の写真</p>
<p>5．本時を振り返る。 ・振り返りカードを書き、発表する。</p>	<p>英語を使ったヒントを与え、次にパワーポイントを使って映像をみせるようにする。 写真の子どもの出身地が分かったら、地図上にその写真を貼っていくようにさせる。 地理的、文化的に特徴のある国を数カ国取り上げる。 さらに、外国のビジネスマンの写真をパワーポイントで紹介し、大人も同じようなものを着ていることをとらえさせる。</p> <p>自分の着ている衣服が外国で作られていることや、普段着は世界どこでも同じようなものを着ていることに気付いている。 （行動観察、振り返りカード）【言語や文化に関する気付き】 民族衣装の場合は国によってそのデザインや色に大きな違いがあったことを振り返る。</p> <p>振り返りカードを次の観点で書かせる。 ・学習で楽しかったこと ・自分と外国の人々が着ている服で気付いたこと</p>	<p>HRT の英語表現を正しい発音で繰り返す。</p> <p>その国がどこにあるのか、地図上に指し示すようながす。</p>	<p>パワーポイント</p> <p>外国のビジネスマンの写真</p> <p>振り返りカード</p>

(2) 第 2 時

目標 色や衣服の部分の言い方を知り、それらを使ってクイズ作りに楽しく取り組むことができる。

評価規準

・色や衣服の部分の言い方を使ってクイズ作りに取り組んでいる。【外国語への慣れ親しみ】

準備等 英語ノート、電子黒板、色カード、衣服の部分カード

児童の主な活動	教師の働きかけと主な英語表現		備考
	HRT	JTE	
1 .HRT や JTE と色や衣服を話題に簡単な会話をし、本時のめあてをつかむ。	<p>児童とあいさつをしながら、色や衣服を話題に簡単な会話をする。</p> <p>Hello. / Your skirt is very nice. / Do you like red? / Yes or no?</p>		
	<p>めあて 色や衣服のヒントで人物当てクイズをしよう。</p>		
2 .英語ノートの挿絵の人物当てクイズをする。	<p>JTE のヒントを聞いて、英語ノートの挿絵の中の誰であるかを当てるクイズであること伝える。</p> <p>英語ノートの挿絵を電子黒板に投影する。</p> <p>色や衣服の部分の言い方が分からないときは、絵カードを示し、支援する。</p> <p>JTE の指示を電子黒板上でしてみせる。</p>	<p>ヒントを与える</p> <p>She is wearing a yellow shirt.</p> <p>She is wearing a blue skirt with white hearts.</p> <p>Where is she?</p> <p>Please point out.</p>	英語ノート 電子黒板
3 .クラスの人物当てクイズをする。	<p>挿絵の中ではなく、クラスの中の誰かを当てるクイズであることを伝える。</p> <p>グループでクラスの人物当てクイズをすることを伝え、どのようなヒントを与えればよいか考えさせる。</p> <p>ヒントを出す手順をおさえる。</p> <p>・色 ・衣服の種類</p> <p>「a yellow shirt」や「a blue skirt」などヒントは簡単でよいことを伝える。</p>	<p>色や衣装の部分は、特に強調して発音する。</p> <p>前のクイズと同様に、色や衣服のヒントを与える。</p>	色カード
・グループでクラスの人物当てクイズをする。		<p>色や衣服のヒントを HRT と一緒に英語で確認する。</p>	衣服の部分カード

	<p>最後に彼は誰？彼女は誰？と問うようにさせる。</p> <p>Who is he / she?</p> <p>グループの中で順番に問題を出していくようにする。</p>		
	<p>色や衣服の部分の言い方を使ってクイズ作りに取り組んでいく。(行動観察、振り返りカード)【外国語への慣れ親しみ】</p> <p>色や衣服の言い方が分からない児童や発音に不安がある児童に対し個別に支援する。</p>		
<p>・クラス全体で人物当てクイズをする。</p> <p>4 . 本時を振り返る。</p> <p>・振り返りカードを書き、発表する。</p>	<p>何人かの児童にクイズを発表させ、みんなでクイズの人物を当てるようにさせる。</p> <p>当てられた児童に、なぜその衣服や色が好きなのか、たずねて衣服や色に対する思いを発表させるようにする。</p> <p>好きな色や衣服について児童同士自由に交流させる。</p> <p>振り返りカードを次の観点で書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none">・クイズで楽しかったこと・友だちの衣服や色の好みで気付いたこと	<p>正しい発音で発表できるように、児童のヒントを言い直したり、全員で発音させたりする。</p>	<p>振り返りカード</p>

(3) 第 3 時

目標 買い物の疑似体験を通して、色や衣服の言い方、買い物の場面での表現に慣れる。

評価規準

・今まで学習してきた、衣服や色の言い方を使って、買い物をしている。【外国語への慣れ親しみ】

準備等 英語ノート、電子黒板、衣服の絵カード（提示用・児童用）、CD、画用紙

児童の主な活動	教師の働きかけと主な英語表現		備考
	HRT	JTE	
1 .HRT と JTE の会話から本時のめあてをつかむ。	<div>JTE との会話内容から、何の場面かを連想させる。</div> <div>H: Hello. How are you? J: I'm fine. Thank you. And you? H: I'm fine, too. H: Your T-shirt is very nice. Where did you buy your T-shirt? J: I bought this T-shirt at .</div> <div>買ったお店は、児童がよく知っている店の名前にする。 Tシャツをどこで買ったかという場面であることを確認し、本時では、買い物をすることを伝える。</div>		
2 . 買い物をする。	<div>めあて 衣服や色の言い方を使って、買い物をしよう。</div>		
・買い物場面での表現を理解する。	<div>買い物の場面を JTE と再現してみせる。</div> <div>【お客さん役】</div> <div>Do you have yellow shoes?</div> <div>客がほしがっているものを、パワーポイントを使って電子黒板に投影する。</div> <div>Thank you.</div> <div>Good-bye.</div> <div>最後はお礼とあいさつで終わるように示す。</div>	<div>【店員役】</div> <div>Yes, I do. Here you are.</div> <div>Here you are. (どうぞ)の意味が分かるように、手渡ししながら発音するようにする。</div> <div>Thank you. Good-bye.</div> <div>店員は笑顔で商品を渡すようにアイコンタクトで表す。</div>	電子黒板
・買い物の表現に慣れるためチャンツを言う。	チャンツに合わせて、衣服の絵カードを指し示し、言葉の意味が分かるようにする。	C Dのチャンツに慣れたら、いろいろな色や衣服の名前を入れて、チャンツを言わせる。	C D 34
・買い物ゲームを楽しむ。	お店の種類は、以下のようにしておき、いろいろな色、種類を準備しておく。 【店の種類 6、1店 2～3名】	店舗の机や絵カードの整理を行う。	衣服の絵カード

	<ul style="list-style-type: none"> ・帽子店 ・シャツ専門店 ・ズボン（パンツ）専門店 ・スカート専門店 ・靴下専門店 ・靴専門店 <p>事前に児童を店員役とお客さん役に分けておき、活動させる。</p> <p>買い物の約束を確認する。</p> <p>【買い物の約束】</p> <p>海外という設定で、学んだ英語を使って買い物をすること。</p> <p>最初と最後にあいさつをすること。</p> <p>買い物の後に、お礼を言うこと。</p> <p>半数が買い物を終えたら交代させる。</p>	<p>買い物の約束に合わせて HRT と買い物場面での表現を確認する。</p> <div> 客: Hello. 店: Hello. 客: Do you have yellow shoes? 店: Yes, I do. Here you are. 客: Thank you. 店: Thank you. Good-bye. 客: Good-bye. </div>	
<p>今まで学習してきた、衣服や色の言い方を使って、買い物をしている。【外国語への慣れ親しみ】</p> <p>恥ずかしがって上手に買い物ができない児童には、一緒に買い物をしたり、店員の役割をしてみせたりする。</p>			
<p>3 .買った衣服にデザインをする。</p> <p>4 . 本時を振り返る。 ・振り返りカードを書き、発表する。</p>	<p>JTE の指示をジェスチャーで児童に伝える。</p> <p>買った衣服に文字（ロゴ）や飾り、アクセサリーなどを描き、オリジナルのデザインをすることを伝える。</p> <p>振り返りカードを次の観点で書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の活動で楽しかったこと ・英語で買い物をしてみても気付いたこと 	<p>買った衣服を画用紙に張り合わせ自分の似顔絵をかかせる。</p> <div>Paste your card to the drawing paper. And draw your likeness.</div>	画用紙

(4) 第 4 時

目標 色や衣服の部分のヒントをクイズに答えながら、友だちの衣服のデザインに対する思いや工夫に気付くことができる。

評価規準

・色や衣服の部分のヒントをもとに、クイズに答えようとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

・友だちの衣服のデザインに対する思いや工夫に気付いている。【言語や文化に関する気付き】

準備等 英語ノート、C D、P35 の挿絵、前時にデザインした絵

児童の主な活動	教師の働きかけと主な英語表現		備考	
	HRT	JTE		
1 .HRT と JTE の会話から本時のめあてをつかむ。	<div>JTE との衣服や色についての会話を注意深く聞かせる。</div> <div>H: Hello. How are you? J: I'm happy. I bought a new skirt yesterday. H: Oh, great. What color did you buy? J: I bought a blue skirt. I like blue. H: Really? I like blue, too. And I like red and yellow.</div>		C D 37, 38 P35 の挿絵 前時にデザインした絵	
2 . Let's Listen を聞いて質問に答える。	それぞれの先生の好きな色を考えさせる。	<div>What color does sensei like?</div> <p>よく聞いていて、反応できた児童を称賛する。</p>		
	<div>What color does sensei like?</div>	<p>CD の登場人物が、それぞれ何色のどんな品物を買ったか線で結ばせる。</p>		
	3 .小集団で自分がデザインした作品を発表する。 ・発表の仕方を確認する。	C D を注意深く聞かせ、JTE の質問に答えさせるようにする。 JTE の指示が分かるようにジェスチャーで伝える。		<div>Draw a line from the clothes to the colors.</div>
				<p>HRT の発表の手順に沿って JTE の作品を発表する。</p> <div>Hello. / Good morning. My name is . I have an orange T-shirt, blue pants, . . . I don't like brown. Thank you.</div>
・ペアで練習する。	もう一度、CD を聞かせ、発表の仕方を次のように行うことを確認させる。 初めのあいさつ 名前 買った衣服と色 嫌いな色 お礼 自分が買ったものとその色に			

<p>・グループで発表する。</p>	<p>ついて確認するようにさせる。 前時でデザインした貼り絵を見せながら発表させる。</p> <p>英語での発表後、なぜその色が好きなのか、その理由と自分のオリジナルのデザインに込めた思いを日本語で交流させる。</p>	<p>正しい発音ができるように個別に支援する。</p> <p>上手に発表している児童を称賛する。</p>
<p>友だちの衣服のデザインに対する思いや工夫に気付いている。</p> <p>【言語や文化に関する気付き】</p> <p>うまく発表できていないグループには、なぜその色が好きなのか、どうしてそのようなデザインにしたのかを相手に質問するように助言する。</p>		
<p>4. ヒントを発表し、どの作品か当てる。</p> <p>・クイズの仕方を知る。</p>	<p>黒板に全員の作品を貼る。</p> <p>友だちの発表を聞き、どの作品であるか当てるクイズをすることを伝える。</p>	<p>注意深く聞くように促す。</p> <p>Listen carefully.</p>
<p>色や衣服の部分のヒントをもとに、クイズに答えようとしている。</p> <p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <p>聞いたことを簡単にメモするとよいことを助言する。</p>		
<p>・質問をする。</p>	<p>なぜその色が好きなのかなど、簡単な質問でよいことを伝える。また、質問や応答は日本語でよいことを伝え、活発に交流させる。</p>	
<p>5. 本時を振り返る。</p> <p>・振り返りカードを書き、発表する。</p>	<p>振り返りカードを次の観点で書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動で楽しかったこと ・友だちのことで分かったこと 	

7 考察

(1) 英語ノート等の効果的な活用

単元作りの工夫

自分や相手の着ている衣服や色を話題にしたコミュニケーションの経験は、他の人と関わる際に親しくなるための話のきっかけとなりうるものである。本単元では、自分や他人さらには外国の衣装に興味を持たせ、色やデザインに着目した普段着の言い方を知り、買い物の疑似体験をさせる単元構成とした。

外国の衣服に興味を持たせる場面では、各国に伝わる民族衣装を考えるクイズを通して、児童は世界にはいろいろな衣装があることを知ることができた。また、各国の普段着の子どもを紹介することで、民族衣装は日本の着物と同じように結婚式などの儀式的のときに着る衣服であり、普段着は日本とあまり変わらないことに気付くことができたようである。

買い物の疑似体験では、色や衣服の言い方に慣れるゲームやクイズを行い、"Do you have ~?"という英語表現を用いて買い物を楽しませるようにした。さらに、買った衣服に自分なりのデザインをさせ、その衣服が誰のものであるか当てるクイズを楽しませ、それぞれの衣服を紹介させることで、衣服の好みや色に対する思いを交流させるようにした。そうすることにより、自分と同じ好みの児童がいることや全く好みの異なる児童がいることを理解することができ、他者理解のきっかけになった。

授業展開の工夫

本時は、外国という異文化社会の中にも日本と同質のものが存在することを知らせることをねらいとしている。つまり、世界各国には、日本の着物のような民族衣装があるが、それは、着物と同様に儀式的のときに着る特別なものであり、普段着はどの国もそう変わらないということを知ることである。

まず、自分たちが外国とつながっていることを感じさせるために、自分が着ているTシャツがどこで作られているかを調べる活動を行った。着ているTシャツのタグを調べ、地図上にシールを貼らせると、そのほとんどが東南アジア、特に中国に集中する。ここで自分たちの衣服が外国(中国)で作られていることを実感させることができた。



【Tシャツのタグを調べる児童の様子】

次に、世界には国によっていろいろな衣装があることを知るために、JTEの英語でのヒントを手掛かりに、民族衣装を身に付けた人物当てクイズに取り組ませた。児童は、"Where is she from?"の発問からその人物がどの国の出身であるか、また、その国がどこにあるか("Where is China?")を考えることができた。



【JTE のヒントをもとに民族衣装のクイズに取り組む児童の様子】

さらに、異文化の中の同質性を感じさせるために、各国の普段着の子どもたちを紹介してどの国の出身であるかを考えさせた。顔の印象からアジア系、アフリカ系、ヨーロッパ系の人であることは推測できるが、普段着だけでは国を特定するのは難しいことに気付くことができた。本時では、中国・ブラジル・インド・ケニアの子どもを取り上げ、地図上で確認し、普段着は自分たちと同じようなものを身に付けていることに気付くことができたと思う。

児童は今年4月より外国語活動を始めたばかりであるので、英語を補足するために写真や電子黒板の画像を多用し授業を展開した。特に電子黒板の活用は児童の注意を引き付けるのに有効であった。また、パワーポイントで画像の出し方をあらかじめ決めていたことで、授業の展開で戸惑うことが少なかったと感じる。



【電子黒板の活用の様子】

(2) 評価の工夫

振り返りカードの質問内容を本時のねらいからとらえなおした。「世界にはいろいろな民族衣装があることが分かりましたか。」「日本と外国の人たちが、普段着ている服で気付いたことを書きましょう。」というように、児童が具体的に何を書けばよいか分かるように工夫した。

外国語活動振り返りカード		名前 ()
1. 楽しく活動できましたか。	<input checked="" type="radio"/> できた <input type="radio"/> だいたいできた <input type="radio"/> あまりできなかった <input type="radio"/> できなかった	
2. 先生の話を注意深く聞いて、クイズに答えることができましたか。	<input checked="" type="radio"/> できた <input type="radio"/> だいたいできた <input type="radio"/> あまりできなかった <input type="radio"/> できなかった	
3. 世界にはいろいろな民族衣装があることが分かりましたか。	<input checked="" type="radio"/> 分かった <input type="radio"/> だいたい分かった <input type="radio"/> あまり分からなかった <input type="radio"/> 分からなかった	
4. 日本と外国の人たちが、普段着ている服で気付いたことを書きましょう。	日本人は和服を着ていますが、外国人は洋服を着ています。日本と外国の人の服装の違いが分かりました。	

外国語活動振り返りカード		名前 ()
1. 楽しく活動できましたか。	<input checked="" type="radio"/> できた <input type="radio"/> だいたいできた <input type="radio"/> あまりできなかった <input type="radio"/> できなかった	
2. 先生の話を注意深く聞いて、クイズに答えることができましたか。	<input checked="" type="radio"/> できた <input type="radio"/> だいたいできた <input type="radio"/> あまりできなかった <input type="radio"/> できなかった	
3. 世界にはいろいろな民族衣装があることが分かりましたか。	<input checked="" type="radio"/> 分かった <input type="radio"/> だいたい分かった <input type="radio"/> あまり分からなかった <input type="radio"/> 分からなかった	
4. 日本と外国の人たちが、普段着ている服で気付いたことを書きましょう。	日本と外国の服装の違いが分かりました。日本は和服を着ていますが、外国は洋服を着ています。	

【児童の振り返りカードの記入例】

(3) 指導体制の工夫

本単元は、HRT と JTE との TT の形態で授業を展開してきた。JTE との打ち合わせでは、役割分担や英語表現の確認などとてもスムーズにできた。また、授業の趣旨を的確に理解していただき、HRT の発音を修正したり、児童に適宜英語で指示をしたりしてもらったので安心感があつた。

(4) まとめ

成果

- ・ 英語ノートを活用し、描かれている民族衣装のイラストを実際の写真で示したり、民族衣装がどの国のものか地図上に表したりすることで、児童は衣装に関するクイズに興味をもって取り組むことができた。
- ・ 英語でのヒントを電子黒板の画像で補足することは、児童の理解を高めるのに有効だったと考える。また、パワーポイントでヒントの順番を決めていることで、授業展開で戸惑うことが少なくなる。

課題

- ・ 本時は聞いてクイズに答える活動が中心であったが、児童に正しい発音を言わせたり、ゲームを取り入れたりして、授業に静と動のメリハリを付けることも大切である。
- ・ 英語ノートを活用しながら単元を構成する際に、そのアレンジの仕方が難しいと感じた。単元で児童に伝えたい教師の思いと、それを具現化する教材研究が不可欠であると改めて感じた。